

名を呼ぶ

小林まもる

名もないような
草花があるだろうか
知らないだけなのに

心にとまるなら名付け
名を呼ばねばならない
気にとまる草花の名を
知らなければ
それだけ貧しいことと
その草花が教えている

名一つ知らない
名付けることもなかった
目眩のような悔悟
忙しかった日々

覚えねばならない
手懐けねばならない
名もないような
庭先の不変の草花から
うつくしい今朝がた
忘れてきた置きみやげが
どっさり届いた

